

民主党 神戸市会議員

大井としひろ活動報告



初春のおよろこびを
申し上げます。

旧年中は、格別のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。初心忘れることなく、皆様のご期待に応え、全力投球で神戸市政の諸課題に挑戦してまいりますので、どうぞ本年もよろしくお願いたします。

平成十七年。私たちの大切なものを数多く奪ったあの忌まわしい阪神淡路大震災から十九年を迎えました。

私達神戸市民は、あの悲しみを乗り越え、市民一丸となって、何もない瓦礫の中から神戸の街を建て直してきました。

しかし、少し明るさは見えてきたものの、まだまだ神戸市の経済もそして、街にも、神戸本来の活気が戻って来ていません。この大きな節目の年に、私もあの時のことを思い出して「がんばろう神戸」の原点に立ち返り、神戸の経済や地域の活性化

安心・安全・住みよい須磨の街づくりに全力投球！

神戸市会議員

大井としひろ

に向けて、「安心・安全・住みよい神戸の街づくりに全力投球」で、元氣な神戸を取り戻すために皆様と共にがんばってまいる所存です。どうぞご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

決算特別委員会で民主党会派を代表して質問を行う

昨年の十二月の一般会計決算特別委員会で私は、都市計画総局及び消防局・みなど総局に対しまして代表質問を行いました。



矢田市長に須磨区の予算要望を行う
大井としひろ市会議員

都市計画総局関係の主な質疑は、阪神高速道路山手線の須磨区清水台地域の騒音問題について質疑を行い、当局より「阪神高速道路公団に出資する当市として騒音問題に対し誠意ある対応を公団に強く要請したい」旨の答弁がありました。

また、須磨浦通六丁目のホテル建設について、十六年十二月に施工される「景観法」の観点から規制できないかと当局に対し迫りました。

その他①三宮駅周辺の再開発について、②阪急と市営地下鉄の相互直通について、③須磨多聞線の進捗状況について、当局の姿勢を質しました。

みなど総局に対しては、神戸経済の活性化が図られるよう空港開港日を一日も早く市民に周知し、市民と一体となった取り組みができるよう要望しました。消防局に対しては、通信設備や防災情報システムの整備状況等について質問し、最新装備の導入を図るよう要望しました。

何事によらず
ご相談下さい

市政について
のご意見、ご
要望をお聞かせ下さい



神戸市会議員
大井としひろ

〒654-0132 神戸市須磨区
多井畑南町22-15 TEL-FAX 743-6155
メールアドレス Kobe-001@leto.eonet.ne.jp

毎週駅前にてご挨拶しております。お気軽にお声掛けください。(8:45-9:30)
丹波口：地下鉄名谷駅、水園口：地下鉄妙法寺駅、金園口：JR須磨駅

民主党・須磨区の主な予算要望事項

○須磨区役所について
利便性の高い板橋地区に早期移転し、保育所などの整備もあわせて検討されたい。

○道路整備について
・南北線(須磨を通過・千守線・墨水妙法寺線・横尾妙法寺線)の早期整備を願われない。
・多井畑厄神橋道路について、歩行者の安全確保の観点からも早期に歩道の整備を願われない。

○公園の整備
・須磨海浜公園をイベントや施設の整備によって集客増を願われない。
・須磨公園の大地・新池・血池・轟ヶ谷池を開放し、自然を残した公園として、釣りやトンボが育つ、市民に親しまれる憩いの場となるよう取り組まれない。

民主党市長に要望



06年度予算要望書を提出する萩原団長

民主党議員団は、十七年度予算に対する要望を取りまとめ、矢野市長と懇談を行いました。
 ○重点要望項目は次のとおり
 ○市政運営及び市民サービスの提供は、市民の立場に立った見直しを行い、市民ニーズに応え、市民に信頼される行政でなければならぬ。そのためには、各種市民サービスに係わるコストや事業内容の情報を市民に伝えることが大切であり、様々な情報伝達方式を駆使して積極的に取り組まれない。
 ○三位一体改革に伴い、税財源と事務権限委譲による事業の自主性が求められる。そこで神戸が直面する緊急の課題に対応する事業と予算を明確にされたい。

○震災復興基金事業の収束にあたって、終了する事業、継承すべき事業、一般施策事業への移行などの選択を行い市民生活を守られたい。
 ○神戸経済の再生・活性化を
 ○中小企業等に、さらなる金融支援の拡充を図り、地域経済の発展に努められたい。
 ○医療、IT、環境、臨空などの関連企業及び研究機関や教育施設などの誘致の実効性をあげるために、さらなる進出支援策の拡充を行うこと。また、市内における情報の一元化を図ることも関係部局の連携強化に取り組まれない。
 ○観光アクションプランの着実な実行と観光産業の育成、観光資源の発掘などを図られたい。
 ○新しい産業や製品が生み出されるものづくりを基盤とした風土づくりへの支援を図られたい。
 ○上海・長江プロジェクトの継続を
 震災復興プロジェクトの位置づけから十年で終了となるが、今後も神戸と中国とのビジネスは益々重要な事業であり、継続させなければならぬ。今後も兵庫県との連携を強め、新たな中国とのチャンネルの開拓を行い、神戸経済の発展のため積極的に推進されたい。

○雇用創出対策について
 「二万人雇用創出」の完遂と、平成十七年度以降も新たな目標を掲げ取り組まれない。
 ○神戸医療産業都市の推進を
 神戸医療産業都市づくりは、雇用の確保と神戸経済の活性化、市民福祉の向上、アジア諸国などへの貢献を目指すとともに、市内中小企業への技術移転や製品化への支援に積極的に取り組まれない。更にトレーニングセンターなどの拠点作りを進めると共に、がん治療施設などさらなる高度医療の集積を図られたい。
 ○福祉の前進を
 ○安心して子育ての出来る子育てネットワークが確立された街づくりを図られたい。
 ○子育て相談窓口の充実、保育の充実、小児救急の整備、教育、医療費負担の軽減
 ○幼保一元化モデル事業の実施に向けて検討を行うこと。
 ○次世代育成支援対策推進法に基づく、子育て総合プランの行動計画の策定と着実な実施に努めること。また、家庭・地域・事業者の連携を図るとともに、市民ニーズの把握に努め、新しい課題に対して迅速的確に対応されたい。
 ○高齢者福祉は、介護サービス制度のさらなる充実を図るとともに高齢者が社会を担う一員として活動できる場の創出に努められたい。
 ○障害者福祉については、作業所

の事業基盤の確立に向け、小規模法人化と仕事探しの支援を強められたい。又、在宅福祉施策の充実を図るとともに、支援費制度の運用においては、サービスの低下、不足をきたさないよう努められたい。
 ○神戸空港の事業推進を
 十七年度の開港に向けて着実に整備を進め、新しい神戸の都市像の実現に努められたい。又、県・市・商工会議所が一体となつて、一層エアポートセールス活動に取り組まれたい。さらに、
 ①多方面との路線・便数の確保
 ②運行時間帯の拡大、特に、羽田との夜間便の実現など関係方面と協議を進められたい。そして、市民が憩い楽しめる親水性、国際性のある空間として整備されたい。又、観光客に神戸の名産(酒やケニカルなど)や文化、歴史など神戸観光の拠点として位置付け、更に、郷土の物産の販売、産業、技術の紹介、観光案内センターなどの拠点づくりを、県・市で連携して整備されたい。
 ○スーパードラグマリンについて
 コスト30%削減などの国際競争力施策を早急に確立するとともに、内航パイプラインの取り組みを強化されたい。また、中古車及び中古建機市場のメッカとなるよう、海外輸出港機能の強化に取り組まれたい。
 ○交通事業について
 公営交通事業は「新たな経営計画」の推進に尽力するとともに、移譲、委託の効果を確実なものとして、サービスの低下をきたすことなく、市民の足の確保に努められたい。

○国際観光交流都市へ
 観光アクションプラン2010の実現に向けて、具体的に年次計画を立案して取り組まれたい。又、観光は国内戦略にとどまらず、アジア各国を対象とした国際戦略を立て、具体的なネットワークづくりを推進されたい。特に、友好都市天津など
 ○安心安全なまちの実現に
 震災十年をむかえるにあたり、今一度全市民的に防災意識の高揚を図られたい。又、既存の地域コミュニティの充実、備品の整備、訓練の実施、緊急時に即対応できる危機管理体制を強化されたい。治安面では、地域のパトロール強化などに取り組み、市民の防犯意識を高めるとともに、兵庫県警などと連携してさらに防犯体制の強化を図られたい。
 ○教育環境の充実を
 次代を担う子供たちが、安全で安心して学ぶことができる学校の整備を進めるとともに、一人の人間として健やかに育ち、人格が形成される教育に一層力を入れられたい。
 ○平成十八年度開港予定の、のじぎく兵庫国体、のじぎく兵庫大会に向けた施設整備と人材育成に努められたい。又、障害者アスリートの育成にも努められたい。



市民所得向上につながる施策の展開を！

向山好一議員が総括質疑

決算特別委員会総括質疑には向山好一議員が立ち、矢田市長に対して「市民1人当たりの所得が低いのは原因がある」と観光振興やみなとの活性化、主要ターミナルの改造について具体的提案をもって質問しました。さらに市民球場の消滅問題、新神戸トンネルの料金問題等についても見解をたしました。民主党議員団の局別質疑のあらましは次のとおりです。

観光交流都市の実現

○東アジア観光客の誘致策

観光産業は裾野が広く経済波及効果が大きい。神戸は空港開港を控え観光ピックアップを迎えるチャンスである。特に、今後大きな伸びが予想されている東アジア諸国からの観光客誘致はもっと積極的に行うべきである。神戸を舞台にした「ガラスの華」という映画が韓国で放映されるがそれを機会にPR強化をすべきである。

A 東アジア諸国の観光客誘致は非常に大切と認識しており、積極的に観光PRを行っている。神戸を舞台とした映画が韓国で放映されることを機好のチャンスととらえ、今月中にソウルでキャンペーンをやってきた。神戸には明石海峡大橋、有馬温泉、夜景など最高の観光資源があり、二〇一〇年に観光客三〇〇万人という目標に向けて京阪神連携して外国人観光客誘致に取り組んでいきたい。

○みなと神戸の活用と整備

二十世紀の観光資源は単なる箱物ではなく、歴史や伝統に基づいた街並みそのものの魅力である。その意味で神戸の場合港の活用が欠かせない。現在いろいろなプランが出てきている

がそれを着実に実行に移してほしい。そして、みなと観光の一つの目玉として水陸両用バスの導入を考えてみてはどうか。また、観光振興は地道な努力の積み重ねが効を奏する場合が多い。市長もシュワルツネッカー知事のように常に神戸観光の宣伝マンの先頭に立ってほしい。

A みなとの活用は欠かせない視点であると認識している。現在、神戸港の西側を「親水ゾーン」として賑わいを創出できるよう整備を進めている。また、水陸両用バスは大阪のNPO法人がデモンストレーション走行した実績があるようだが、所管省庁や運行上の手続きなど不明な点が多く今後研究してみたい。

賑わいの創出

○三宮駅周辺を改造すべき

賑わい創出には三宮の役割は大きい。大阪駅や京都駅は時代とともに変貌を遂げているが、三宮駅周辺は三十年間変わっていないし今後も計画や構想もない。周辺の再開発には特に鉄道事業者との協力が必要になるが、阪急電鉄が地下鉄山手線と直結し跡地に大規模商業施設を建設する構想が出てきたが、それをどう評価し検討しようとしているのか。

阪急の地下化直結計画は、近畿運輸局長の諮問機関である近畿地方交通審議会を検討対象として盛り込まれた内容であり、今後長期的な課題と認識している。利害関係者が多くあり、様々な観点から検討が必要である。まずは鉄道事業者が議論する場を設けたい。

A 学童期にある子供たちを狙った犯罪が多発している。登下校時の安全確保対策を学校・保護者・地域の連携で見守り体制を確立すべきと思うが。

児童生徒の安全確保対策を！

A 全中学校区ごとにふれあい懇話会を設置し学校・家庭・地域・関係機関の情報交換や安全対策にかかわる協議を進めています。あいさつ運動・声かけ運動、地域運動など展開している。

A 神戸の小学校と大学が連携することを背景として進められたスクールサポーターについて、導入の評価を議論つけるのは早いかもれないが、現時点の事業の効果と評価を伺いたい。

「分かる授業、楽しい学校」を

A 市内十大学百十三名の学生を三十三小学校に配置し、教員の教育活動の補助が基本である。

A 神戸空港は都心に近く利便性の高い空港と評価されており、特に二十一時以降の時間帯のビジネス需要は大きく今後国と話し合っていきたい。市民にとって利用しやすい空港を目指し、路線・便数の確保に向けて地元一体となって取り組みたい。

児童へのきめこまやかな対応が充実でき基礎学力の向上が図れたり休み時間に遊ぶことで全体的に活気が出てきている。大学と連携する先進的な取り組みであり、他都市から注目評価されている。

神戸空港の利用促進を！

神戸空港の利用促進に向け、路線・便数の確保、運用時間の拡大、特に羽田との夜間便の実現などどの様に考えているか？

A 神戸空港は都心に近く利便性の高い空港と評価されており、特に二十一時以降の時間帯のビジネス需要は大きく今後国と話し合っていきたい。市民にとって利用しやすい空港を目指し、路線・便数の確保に向けて地元一体となって取り組みたい。



ガラスの華撮影の舞台となったメリケンパーク



民主党

神戸市議会 News

編集・発行＝民主党神戸市会議員団 / TEL 078-322-5844 FAX 322-6161



決算特別委員会委員長に池田ひろし議員(北区)が就任、秋坂伸幸(長田区)、前島浩一議員(西区)、十津川文議員(東灘区)、橋本秀一議員(市西)向山好一議員(北区)、大井敏弘議員(東灘区)。

義務的経費比率52.8% 危機的な財政状況

第4回定期
市会報告

行財持

一般会計決算
市会では提案され及び特別会計決算を審議する第4回定期
閉会しました。十八議案を可決して十二月二十二日、
民主党は代表

業政策、雇用創
にただしました。出、教育、福祉対策など十八項目を市長
景気低迷の息

は減収、財源社
徳円と財政状況
震災十年の節

して行政経営方
化のための既存
る支援の必要が

可能な 政システムの構築を

成十五年度決算を踏まえ、行財政構造
改革に取り組み矢田市長の姿勢を讃
した。
矢田市長は、市税収入が平成九年以
降、六年連続で前年比減少しており、
一般会計に占める義務的経費(人件
費・扶助費・公費費)比率が五十二
・八%と顕著化している。
このような状況なので、根本的に改
革すべく、事務事業の抜点検を行う。
受益と負担の適正化や民間委託・民営
化など行政サービスの担い手の見直し、

明らかになりました。

元気の源泉の 復活・高活性化を！

さらに橋本議員は、神戸経済の活性
化のために、中小企業の支援や神戸市
が進めている医療産業都市構想の地元
企業への産業化への推進しをどの様に
進めているのか質疑を求めた。
矢田市長は、「神戸経済を支えている
のは中小企業であり、中小企業が元
気になることが神戸経済の活力となる。
また、神戸の産業は物づくり技術が
高く、今後は産業構造の転換に向け、
産学官民の連携を強め、既存産業の高
度化、成長分野の育成(医療やロボッ
トテクノロジなど)を行政として、
環境づくり、仕掛けづくりを進めたい。
元気な産業のまち実現を目指し、既存
産業と新産業の連携・交流が重要だと
考えている。

行財政構造を 本格的に改革する 断固の組みを！

代表質問に立つ大井としひろ議員

橋本議員は、矢田市長が
新しい財政状況のもと、行
政経営方針を発表し、具
体的な目標項目を示し、構
造改革に取り組み強い決意
を表明し期待を表明した。
そこで、橋本議員は、平

行政運営・市民サービスの 刷新に立ったた実現を

橋本議員は、社会が大きく変わり成
長から成熟へ、また、公益性の追求や
受益と負担の適正化など、真に必要な
行政サービスは何かを十分検討し方向
性を出していただきたいと要望し実現
を求めた。

さらに組織全体の役割分担を定めるな
ど行い、職員体制の三〇〇〇人削減を
進める考えである。また、経済の低成
長時代、少子・高齢社会における持続
可能な行政システムの構築が大変重
要と考えている。
さらに、神戸の活力を高めていく取
り組みとして、企業誘致・医療産業都
市構想の推進などにより、二万人雇用
創出をせひやり進めたく企業取り組ん
でいきたい。

のニーズを受け製品化を進めるために、
専門的な立場から推進しを行うビジネ
スサポートアドバイザーを派遣し、構
造的な支援を行いたい。
最後に矢田市長は、市民の暮らしを
守っていく観点とこれからの神戸のま
ちづくりの方向性として、安心・安全
そして健康・交流・融合というキー
ワードをベースに施策を推進しながら
二十一世紀の神戸の礎を築く予算を編
成したいと述べた。